



SDGsを
考えよう



Bluoggs
environmental education

授業テーマ

「自然災害に強いまちづくり」について考えてみよう

対象学年

小学5年または6年

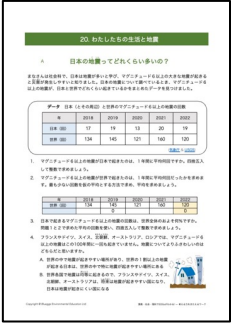
テーマ設定に関わる社会的な背景



日本の国土は、地形や気象などの自然条件から、地震や台風、豪雨、洪水、津波、土砂崩れ、火山噴火などの自然災害が発生しやすくなっている。そのため、これまで多くの自然災害に見舞われ、多くの命が犠牲となった。また、地震による建物の倒壊や津波の発生、台風による洪水や土砂崩れなどによって、道路や交通機関、電気、水道などのインフラが停止し、生活や経済、社会に深刻な影響を与えてきた。それに加えて、地球温暖化によって大雨の回数が増加し、それに伴って洪水や浸水、土砂災害などの自然災害のリスクが一層高まっていくと予測されている。

このような背景を踏まえ、SDGsの11番目の目標「住み続けられるまちづくりを」のもと、災害が発生しても被害を最小限に抑えるために、「自然災害に強いまちづくり」を進めることが重要視されている。今後の課題として、防災教育の推進、インフラの強化、避難計画の整備などが挙げられ、これらに対する取り組みが急務となっている。

授業の目標

1. 自然災害の多い日本に住むわたしたちが直面している問題について理解する (知識・技能)
2. 社会の課題を読み解き、実践的に考える力を身につけられるようにする (思考・判断・表現)
3. 「自然災害に強いまちづくり」について、自分なりの考えを持てるようにする (主体的に学習に取り組む態度)

	主な学習活動・内容	指導上の留意点 ○観点別評価
【宿題】	<p>【めあて】 「自然災害に強いまちづくり」について考える</p> <p>■ 「日本の地震ってどれくらい多いの？」(P.50)のプリントの問題を解く</p>	
<p>授業</p> <p>【導入】 10m</p> <p>【展開】 30m</p>	<p>Q1) 日本で発生する自然災害にはどんなものがありますか。 地震・台風・大雨・土砂災害・洪水・津波・火山の噴火など</p> <p>Q2) 地震が挙がりなしたが、宿題でしたプリントで日本の地震についてどんなことがわかりましたか？毎年15～20回大きい（マグニチュード6以上）地震が日本で起きていて、世界の13%の大きい地震が日本で起きている（補足情報1：日本の国土は世界の0.25%）＝日本は地震の多い国土（補足情報2）日本列島は複数のプレートが出会う世界でも珍しい位置にあり、内陸にも断層も数多くあり地震が発生しやすい</p> <p>T) この授業では、みんなで「自然災害に強いまちづくり」について考えてみたいと思います。</p> <p>■ 2つの質問を考えながら、学習の見通しを持つ</p>	<p>Q1) 日本では地震だけでなく、台風や洪水など他の自然災害の発生も多くなっています。自然災害が発生するとどんな困ることが起きますか。（人が亡くなる、怪我する、家が壊れる、電気・水・ガスなどのインフラがストップする、道路が通れなくなる、橋が壊れる、電車が止まる、避難所に非難しなくてはいけない、学校・会社がなくなる（行けなくなる）など）</p> <p>Q2) 自然災害が起きると、日常生活が普段通りに送れなくなり、私たちの生活や社会に大きな影響を与えることがあります。こうした自然災害に対してどのような取り組みが必要ですか？「自然災害を防いだり、被害を減らしたりする取り組み 被害ににあってもすぐ立ち直れるような取り組み」＝自然災害に強いまちづくり</p> <p>Q3) 自然災害に強いまちづくりにおける取り組みについて何か知っていることはありますか？耐震設計など</p>

	主な学習活動・内容	指導上の留意点 ○観点別評価
	【めあて】 「自然災害に強いまちづくり」 について考える	
	<p>■動画を見て、国や地方自治体によって行われている自然災害に強いまちづくりのいくつかの取り組みについて学ぶ</p>	<div data-bbox="878 272 1315 523" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">   <p>「自然災害に強いまちづくり」 について考えてみよう</p> <p>Blu@eggs <small>innovative education</small></p> </div> <p style="text-align: center;">(7分35秒)</p>
	<p>T: 動画の中で、自然災害に強いまちをつくるためにどんな取り組みが紹介されていましたか。また他にどんなことを学びましたか。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> • 【対台風】 沖縄の家（石垣、瓦屋根、漆喰、一階建、防風林） • 【対津波・高波】 防潮堤（陸の上）、防波堤（海の中） • 【対地震】 緊急地震速報 • 災害時帰宅支援ステーション <p>■話し合い</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 3678回の地震（2024年）ほとんどは震度1、2だが、震度4以上も100回以上（113回） • 全体の1/2の台風が接近、1/8が上陸 • 地球温暖化でさらに大雨、洪水、土砂災害が増える • SDGs 11 「住み続けられるまちづくりを」で自然災害に強いまちづくりを促進 <p>○クラスで話し合うことによって、自分なりの考えを持てるようにする（主）</p>
	<p>Q) 街や国レベルでの自然災害に強いまちづくりについての取り組みを見てきましたが、自然災害に強いまちをつかっていくために、わたしたちができることがあると思いますか。あるとしたらどんなことがあると思いますか。</p> <p>家の耐震化、安全対策、防災グッズ、非常用持ち出し袋、家で家族で非難場所の確認、地域の防災訓練の参加など</p>	

	主な学習活動・内容	指導上の留意点 ○観点別評価
【まとめ】 5m	【めあて】 「自然災害に強いまちづくり」について考える	
	<p>■自然災害に強いまちづくりについて考えたことを各自ノートに書く</p>	<p>「〇〇君が気付いた・・・のこと、、、」や、「〇〇さんの発言の・・・のこと、、、」のように、名前をあげて教師が紹介する</p>